



豊島区立

トキワ荘 マンガミュージアム

TOSHIMA CITY
TOKIWASO
MANGA MUSEUM

たてもの みどころ マップ

このミュージアムは、有名マンガ家が、かつて住んでいた「トキワ荘」という昭和のアパートを再現して建てられました。ここではマンガ家たちが仕事をして、食事をして、遊んで、毎日を送っていました。建物を知らないと、マンガ家の暮らしがさらによくわかります。さあ、建物の秘密を探ってみましょう！

① 電話ボックス

トキワ荘があった時代はすべての家に電話があるわけではなく、手紙や電報で連絡をとることも多かったのです。マンガ家たちは、出版社に連絡するとき、トキワ荘の看板のそばにあった公衆電話を使っていました。外の電話ボックスは当時のクリーム色で、電話機の青色も再現しました。

② 「トキワ荘」の看板

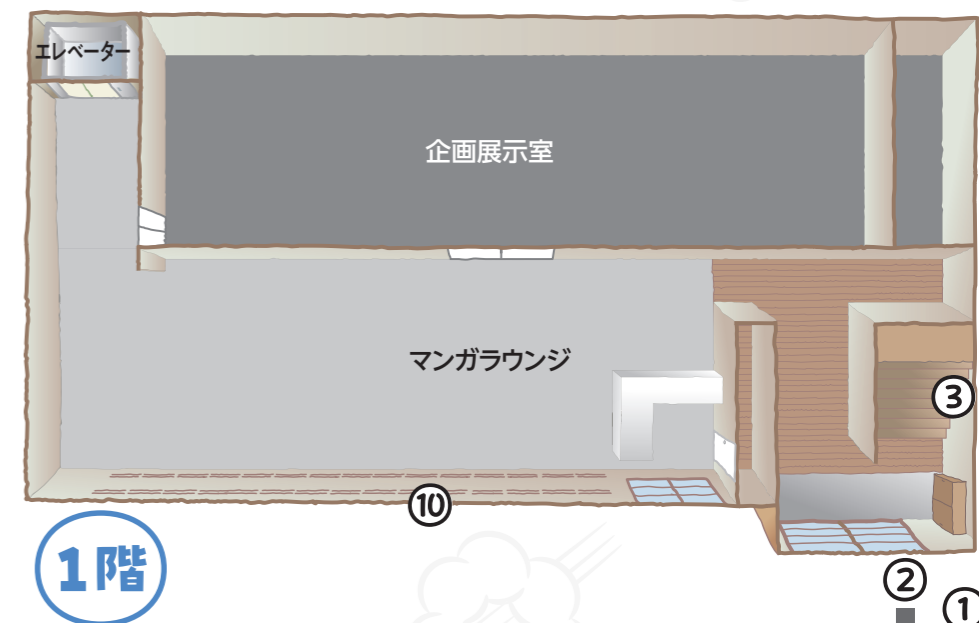
玄関前の小道の角にあった看板には「トキワ荘」と大きな文字で書かれています。何回か作りかえられており、当館では四角柱で2種類の文字を再現しました。書体が異なるのに気づきましたか。当館一番人気の撮影スポットです。マンガ家気分で記念撮影をしてみませんか？

③ 階段

当時のトキワ荘の階段は、きしむ音がしました。マンガの中にも「ギシギシ」とした擬音が描かれています。ミュージアムでは、この階段のきしむ音まで再現しています。この音を聞いて当時のマンガ家達は編集者が来たことが分かったそうです。締切に追われたマンガ家、仕事もらえるかもと思ったマンガ家、それぞれが、このギシギシ音にドキドキ。あなたも体験してみてください。

④ トイレ

トイレは男女共用でした。マンガ家達が暮らしていた頃は汲み取り式で、用を足すと2階から1階へ土管を通して下にある便槽に落ちる仕組みでした。「ポットトイレ」とも言われていました。



⑤ 共同炊事場

トキワ荘には1階、2階に一つずつ炊事場があり、住人が共用で使っていました。流し台は洗面や洗濯にも使われていました。当時の生活感を含めリアルな再現空間をご堪能ください。

⑥ 常設展示室

トキワ荘のあったまち「椎名町」の歴史を紹介しています。グラフィックパネルやジオラマ、地域の方から提供された昔の町の写真などを展示して、江戸時代から昭和にいたる町の歴史を知ることができます。ジオラマの高さに目線を合わせると、当時の街がリアルに再現されているのを楽しめます。

⑦ 18号室

(アシスタント・山内ジョージの部屋)

石ノ森章太郎のアシスタントをしていた、山内ジョージの部屋を再現しています。本棚にある本や映画のフィルム缶などは石ノ森のもので、自室が一杯で置けなくなったため、隣のアシスタント部屋に置いていたそうです。

⑧ 19号室

(水野英子の部屋)

トキワ荘ただ一人の女性マンガ家だった、水野英子の部屋を再現しています。水野がこの部屋に住んだのは、石ノ森章太郎・赤塚不二夫と「U・マイア」名義で合作マンガを描くためでした。柳行李のスーツケース一つで上京し、7カ月間だけの居住でした。

⑨ 20号室

(よこたとくおの部屋)

トキワ荘の入居前、赤塚不二夫と共同生活もしていた、よこたとくおの部屋を再現しています。赤塚の後を追うように、部屋が空くのを待ってよこたもトキワ荘へ移りました。自分で購入したテレビで、趣味である大相撲や野球を観戦していたそうです。

⑩ 外観

(職人技のエイジング)

この建物、出来たばかりのはずなのに少し古く感じませんか？実は、トキワ荘ができてから10年経った様子を再現するために「エイジング」という演出をしています。外壁は雨や土で汚れたように、手を加えています。室内の道具一つ一つにも使い込まれた跡を表現するなど、細かい部分にもこだわっています。